

審査委員特別賞

嘉瀬川はどの位の雨で氾濫するのか

佐賀県 佐賀大学教育学部附属中学校 3年 大島 侑子

講 評

2018年の大雨で佐賀市内が浸水した事実に触発され、嘉瀬川がどのくらいの雨で氾濫するのかを研究したものです。気象庁の降水量のデータ、国土交通省の嘉瀬川の流域面積や流量などのデータを調べ、川の最大流量や嘉瀬川ダムの効果を計算し、実際にどのくらいの雨が降ると氾濫する可能性があるのかを数学的に調べ、ダムの効果も実感しています。近年、台風や大雨で川の氾濫が増えていますが、数学を防災に役立てるよい例です。

中央審査委員会